

令和4年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福島県		市町村類型	I-1	指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	区分		令和4年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	26,825,079	23,788,048	実質収支比率	5.7	5.6																																																																																																																																																																													
市町村名	相馬市		地方交付税種地	I-2	財源超過	×	歳出総額	24,633,431	22,465,385	経常収支比率	93.9	89.9																																																																																																																																																																													
					首都	×	歳入歳出差引	2,191,648	1,322,663	(※1)	(96.1)	(96.7)																																																																																																																																																																													
人口	令和2年国調(人)	34,865	産業構造(※5)	近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,606,830	753,565	標準財政規模	10,195,720	10,253,969																																																																																																																																																																														
	平成27年国調(人)	38,556		中部	×	実質収支	584,818	569,098	財政力指数	0.67	0.69																																																																																																																																																																														
増減率(%)	-9.6	過疎		×	単年度収支	15,720	-112,895	公債費負担比率	10.1	8.9																																																																																																																																																																															
住民基本台帳人口(※7)	令和05.01.01(人)	33,355		山振	○	積立金	417	222	健全化判断比率	-	-																																																																																																																																																																														
	うち日本人(人)	33,094		低開発	○	積立金取崩し額	560,958	852,356	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																														
	令和04.01.01(人)	33,831	指数表選定	○	実質単年度収支	-544,821	-965,029	連結実質赤字比率	11.4	11.5																																																																																																																																																																															
	うち日本人(人)	33,615	第1次		基準財政収入額	5,457,769	5,331,638	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																																	
	増減率(%)	-1.4	第2次		基準財政需要額	8,465,251	8,061,881																																																																																																																																																																																		
うち日本人(%)	-1.5	第3次		標準財政収入額等	6,952,587	6,762,731																																																																																																																																																																																			
面積(km ²)	197.79			経常経費充当一般財源等	9,428,803	9,146,105																																																																																																																																																																																			
人口密度(人/km ²)	176			歳入一般財源等	17,416,034	15,103,619																																																																																																																																																																																			
世帯数(世帯)	13,875																																																																																																																																																																																								
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																																									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	17,356,445	17,746,180																																																																																																																																																																															
	市区町村長	1	9,850	一般職員	286	925,782	3,237	うち公的資金	15,142,503	15,410,404																																																																																																																																																																															
	副市区町村長	1	7,900	うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	10,928,065	10,989,133																																																																																																																																																																															
	教育長	1	7,350	うち技能労務職員	25	86,575	3,463	債務負担行為額(支出予定額)	3,746,568	4,805,820																																																																																																																																																																															
	議会議長	1	4,450	教育公務員	11	34,549	3,141	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																															
	議会副議長	1	3,950	臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	348,829	348,822																																																																																																																																																																															
	議会議員	16	3,750	合計	297	960,331	3,233	積立金	4,231,597	4,512,138																																																																																																																																																																															
					ラスパイレシ指数		100.0	現在高	762,729	762,702																																																																																																																																																																															
								減債基金	4,418,794	3,866,536																																																																																																																																																																															
								その他特定目的基金																																																																																																																																																																																	
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法通)の一覧</td> <td>公営企業(法非通)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(3) 国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(6) 公共下水道事業特別会計</td> <td></td> <td>(8) 相馬地方広域水道企業団水道事業会計</td> <td>(18) 相馬市振興公社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 光陽地区造成事業特別会計</td> <td></td> <td>(4) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td>(7) 農業集落排水事業特別会計</td> <td></td> <td>(9) 福島県後期高齢者医療広域連合一般会計</td> <td>(19) 相馬リサイクルセンター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5) 介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10) 福島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計</td> <td>(20) 相馬市市民市場</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) 相馬地方広域市町村圏組合一般会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) 相馬地方広域市町村圏組合看護専門学校特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 福島県市町村総合事務組合一般会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 福島県市町村総合事務組合消防補償等特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 福島県市町村総合事務組合消防防しゅつ金特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16) 福島県市町村総合事務組合非常勤職員公務災害補償特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17) 福島県市町村総合事務組合自治会館管理特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法通)の一覧	公営企業(法非通)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)	(1) 一般会計		(3) 国民健康保険特別会計		(6) 公共下水道事業特別会計		(8) 相馬地方広域水道企業団水道事業会計	(18) 相馬市振興公社								(2) 光陽地区造成事業特別会計		(4) 後期高齢者医療特別会計		(7) 農業集落排水事業特別会計		(9) 福島県後期高齢者医療広域連合一般会計	(19) 相馬リサイクルセンター										(5) 介護保険特別会計				(10) 福島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計	(20) 相馬市市民市場														(11) 相馬地方広域市町村圏組合一般会計															(12) 相馬地方広域市町村圏組合看護専門学校特別会計															(13) 福島県市町村総合事務組合一般会計															(14) 福島県市町村総合事務組合消防補償等特別会計															(15) 福島県市町村総合事務組合消防防しゅつ金特別会計															(16) 福島県市町村総合事務組合非常勤職員公務災害補償特別会計															(17) 福島県市町村総合事務組合自治会館管理特別会計								
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法通)の一覧	公営企業(法非通)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)																																																																																																																																																																											
(1) 一般会計		(3) 国民健康保険特別会計		(6) 公共下水道事業特別会計		(8) 相馬地方広域水道企業団水道事業会計	(18) 相馬市振興公社																																																																																																																																																																																		
(2) 光陽地区造成事業特別会計		(4) 後期高齢者医療特別会計		(7) 農業集落排水事業特別会計		(9) 福島県後期高齢者医療広域連合一般会計	(19) 相馬リサイクルセンター																																																																																																																																																																																		
		(5) 介護保険特別会計				(10) 福島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計	(20) 相馬市市民市場																																																																																																																																																																																		
						(11) 相馬地方広域市町村圏組合一般会計																																																																																																																																																																																			
						(12) 相馬地方広域市町村圏組合看護専門学校特別会計																																																																																																																																																																																			
						(13) 福島県市町村総合事務組合一般会計																																																																																																																																																																																			
						(14) 福島県市町村総合事務組合消防補償等特別会計																																																																																																																																																																																			
						(15) 福島県市町村総合事務組合消防防しゅつ金特別会計																																																																																																																																																																																			
						(16) 福島県市町村総合事務組合非常勤職員公務災害補償特別会計																																																																																																																																																																																			
						(17) 福島県市町村総合事務組合自治会館管理特別会計																																																																																																																																																																																			

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	5,355,280	20.0	5,355,280	54.6	普通税	5,354,278	100.0	114,862	
地方譲与税	222,452	0.8	222,452	2.3	法定普通税	5,354,278	100.0	114,862	
利子割交付金	1,661	0.0	1,661	0.0	市町村民税	2,106,468	39.3	20,438	
配当割交付金	16,286	0.1	16,286	0.2	個人均等割	60,312	1.1	-	
株式等譲渡所得割交付金	11,381	0.0	11,381	0.1	所得割	1,775,218	33.1	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	113,921	2.1	-	
地方消費税交付金	918,106	3.4	918,106	9.4	法人税割	157,017	2.9	20,438	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,770,167	51.7	94,424	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	2,759,151	51.5	94,424	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	125,916	2.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	351,727	6.6	-	
自動車税環境性能割交付金	14,516	0.1	14,516	0.1	雑産税	-	-	-	
法人事業税交付金	86,981	0.3	86,981	0.9	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	39,376	0.1	39,376	0.4	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	39,196	0.1	39,196	0.4	目的税	1,002	0.0	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	180	0.0	180	0.0	法定目的税	1,002	0.0	-	
地方交付税	7,562,791	28.2	3,007,482	30.7	入湯税	1,002	0.0	-	
普通交付税	3,007,482	11.2	3,007,482	30.7	事業所税	-	-	-	
特別交付税	3,814,392	14.2	-	-	都市計画税	-	-	-	
震災復興特別交付税	740,917	2.8	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	14,228,830	53.0	9,673,521	98.6	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	3,594	0.0	3,594	0.0	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	85,443	0.3	-	-	合計	5,355,280	100.0	114,862	
使用料	152,349	0.6	12,707	0.1					
手数料	1,019,731	3.8	-	-					
国庫支出金	5,162,845	19.2	-	-					
国有提供交付金(特別区調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	2,316,381	8.6	-	-					
財産収入	46,342	0.2	31,789	0.3					
寄附金	72,319	0.3	-	-					
繰入金	870,701	3.2	-	-					
繰越金	1,042,663	3.9	-	-					
諸収入	438,701	1.6	85,074	0.9					
地方債	1,385,180	5.2	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	235,600	0.9	-	-					
歳入合計	26,825,079	100.0	9,806,685	100.0					

区分	令和4年度	令和3年度
徴収率(%)	99.0	95.9
現年計	98.8	94.6
合計	99.0	96.5

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,502,298	実質収支	49,372
下水道	719,571	再差引収支	48,337
病院	476,237	加入世帯数(世帯)	4,540
上水道	17,842	被保険者数(人)	7,066
工業用水道	-	被保険者	104
国民健康保険	288,283	1人当り	2
その他	1,000,365	保険税(料)収入額	366
		国庫支出金	2
		保険給付費	366

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	193,734	0.8	-	193,734	
総務費	1,907,405	7.7	4,204	1,665,726	
民生費	6,531,303	26.5	231,471	3,112,430	
衛生費	5,648,093	22.9	3,037,151	3,387,871	
労働費	8,421	0.0	-	5,509	
農林水産業費	939,998	3.8	379,992	640,044	
商工費	402,935	1.6	14,766	309,010	
土木費	2,680,964	10.9	1,218,969	1,416,468	
消防費	575,100	2.3	18,792	500,180	
教育費	2,018,224	8.2	45,017	1,824,555	
災害復旧費	1,892,338	7.7	-	402,295	
公債費	1,834,916	7.4	-	1,766,564	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	24,633,431	100.0	4,950,362	15,224,386	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	8,183,182	33.2	5,502,191	4,794,298	47.7
人件費	3,028,603	12.3	2,801,888	2,719,167	27.1
うち職員給	1,851,757	7.5	1,702,026	-	-
扶助費	3,319,663	13.5	933,739	576,188	5.7
公債費	1,834,916	7.4	1,766,564	1,498,943	14.9
元利償還金	1,834,916	7.4	1,766,564	1,498,943	14.9
うち元金	1,774,915	7.2	1,712,814	1,445,298	14.4
うち利子	60,001	0.2	53,750	53,645	0.5
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	9,607,549	39.0	7,122,251	4,634,505	46.1
物件費	2,504,136	10.2	1,962,474	1,329,723	13.2
維持補修費	660,290	2.7	457,590	375,793	3.7
補助費等	3,855,368	15.7	3,103,589	1,929,170	19.2
うち一部事務組合負担金	996,814	4.0	996,814	888,594	8.8
繰出金	1,288,648	5.2	1,029,457	999,819	10.0
積立金	822,407	3.3	216,121	-	-
投資・出資金・貸付金	476,700	1.9	352,820	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	6,842,700	27.8	2,599,944	-	-
うち人件費	26,255	0.1	26,255	-	-
普通建設事業費	4,950,362	20.1	2,197,649	-	-
うち補助	4,232,877	17.2	1,787,388	-	-
うち単独	683,646	2.8	406,722	-	-
災害復旧事業費	1,892,338	7.7	402,295	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	24,633,431	100.0	15,224,386	-	-

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

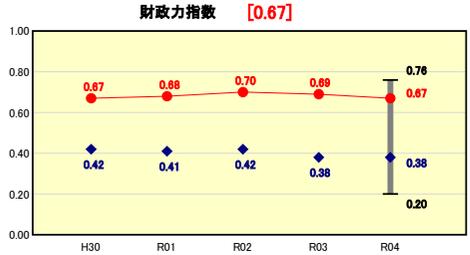
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	33,355人 (R5.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	33,094人 (R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	197.79km ²	実質公債費比率	11.4%
歳入総額	26,825,079千円	将来負担比率	15.7%
歳出総額	24,633,431千円	市町村類型	H30 I-O R01 I-O R02 I-O
実質収支	584,818千円	(年度毎)	R03 I-1 R04 I-1
標準財政規模	10,195,720千円		
地方債現在高	17,356,445千円		



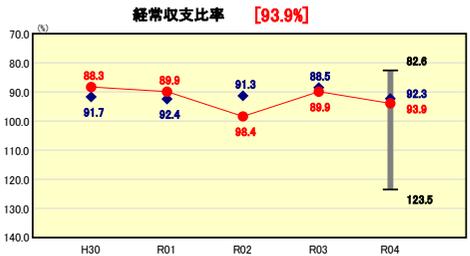
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイレ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力



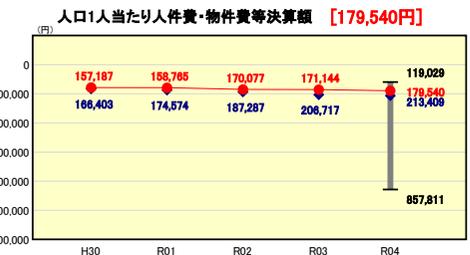
財政力指数の分析欄
 前年度から0.02ポイント減少し、類似団体平均を0.29ポイント上回る結果となった。これは、令和元年台風災害などによる基準財政需要額が増となっているためである。
 今後は復興整備施設の維持管理経費の上昇が予測されるため、既存事業の見直しにより財政力の維持を図りたい。

財政構造の弾力性



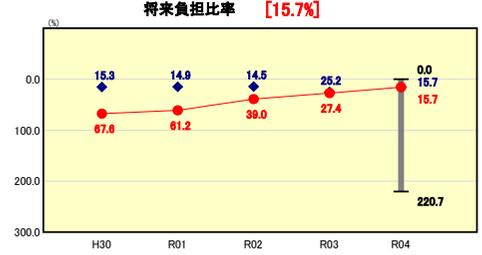
経常収支比率の分析欄
 前年度からは4.0ポイント増加し、類似団体平均よりも1.7ポイント上回る結果となった。増加要因災害復旧にかかる償還費(公債費)の増加などによるものである。
 今後は災害復旧にかかる償還費(公債費)の増加、福祉関係経費等を中心とした扶助費の増加が見込まれ、更なる財政の硬直化が懸念されることから、歳入の安定確保、財政基盤の強化に努める。

人件費・物件費等の状況



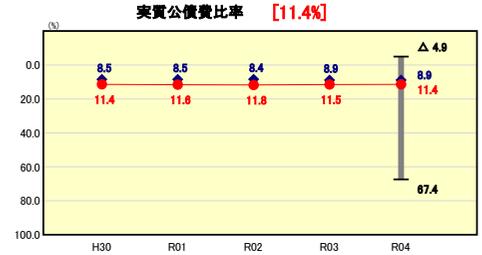
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 前年度からは8,396円増加し、類似団体平均よりも33,869円下回る結果となった。今年度においては、類似団体平均を下回る結果となったものの、今後は、震災復興関連で整備した施設の経年劣化等に伴う維持管理費の増加が見込まれることから、コスト削減に努めていく。

将来負担の状況



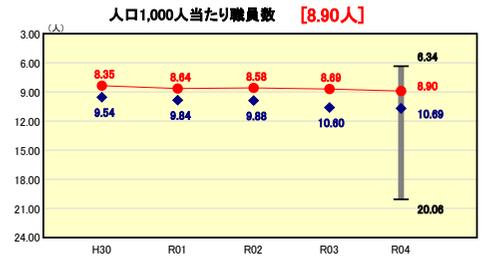
将来負担比率の分析欄
 前年度から11.7ポイント減少し、類似団体平均と同じ15.7ポイントとなっている。今年度においては、債務負担行為に基づく支出予定額の減少や組合等負担等見込額の減少、充当可能基金・充当可能特定歳入の増加により、将来負担比率は改善された。今後、事業内容を更に厳選すること、また、新たな地方債の発行については交付税措置の有利なものに限り活用することなどで後年度負担の軽減を図るための財政健全化に努める。

公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄
 比較的数値の高かった平成24年度以降、毎年度比率の横ばいが続いているが、依然として類似団体を上回っている。今後数年は、小中学校の改築等に伴い平成28年度から例年以上の地方債を発行していることに加え、令和元年東日本台風及び令和3年福島県沖地震による災害復旧事業債により、比率が上昇することが見込まれる。今後は、公共施設の維持適正化、事業の見直しを実施しながら、新たな地方債の発行を抑制していく。

定員管理の状況



人口1,000人当たり職員数の分析欄
 相馬市行財政改革における事務事業の効率化、一部組織の見直しを実施したことで職員数の適正化を図り、平成18年度から平成27年度までに48人の人員を削減した。
 職員数の微増および人口減少により、前年度から0.21ポイント増加しているものの、類似団体平均を下回っている。今後も適正な人員配置を行い、類似団体平均を下回る数値を維持できるよう努めていく。

給与水準 (国との比較)



ラスバイレ指数の分析欄
 給与水準は、福島県人事委員会が民間企業の給与の実態を調査し、地域の民間給与水準との均衡を図るために実施された勧告を尊重して決定しており、地域の民間給与水準を給料月額に適切に反映させた結果、前年度から0.9ポイント減少したものの、類似団体及び全国市平均を上回ることとなった。なお、給与水準については、今後も福島県人事委員会勧告を尊重しながら、適切な給与水準となるよう努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

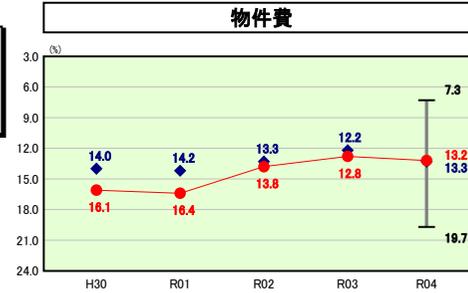
福島県相馬市

経常収支比率の分析

人口	33,355	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	33,094	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	197.79	km ²	実質公債費比率	11.4	%
歳入総額	26,825,079	千円	将来負担比率	15.7	%
歳出総額	24,633,431	千円	市町村類型	H30 I-O R01 I-O R02 I-O	
実質収支	584,818	千円	(年度毎)	R03 I-1 R04 I-1	
標準財政規模	10,195,720	千円			
地方債現在高	17,356,445	千円			

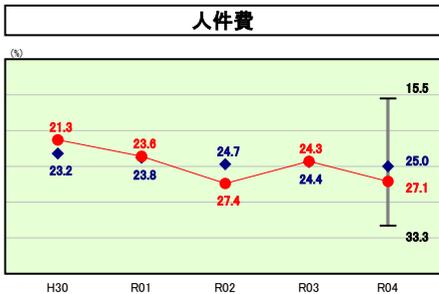


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



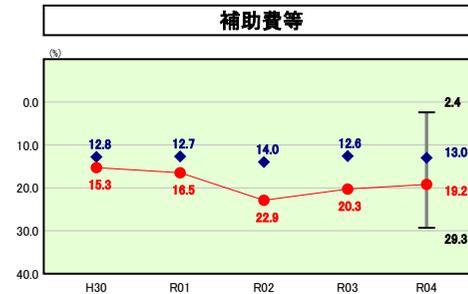
類似団体内順位 65/132 全国平均 14.9 福島県平均 16.3

物件費の分析欄
 前年度から0.4ポイント増加したものの、以前より上回っていた類似団体平均を0.1ポイント下回る結果となった。外部評価委員会の評価及びPDCAサイクルによる検証により、既存施設も含め、維持管理経費のコスト削減に努めていく。



類似団体内順位 96/132 全国平均 25.9 福島県平均 24.5

人件費の分析欄
 退職者に伴う退職金の増等により、前年度から2.8ポイント増加し、類似団体平均を2.1ポイント上回る結果となった。今後も人員配置の見直しや定員管理・給与の適正化を図り、人件費の抑制に努めていく。



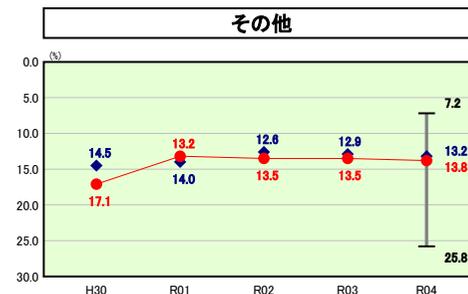
類似団体内順位 123/132 全国平均 10.5 福島県平均 12.6

補助費等の分析欄
 前年度から0.4ポイント増加し、類似団体平均を6.2ポイント上回る結果となった。以前より、公立病院事業や消防事業などの広域行政組合に対する負担金や下水道事業会計への繰入金が多いためである。今後は、既存事業を含めた事業見直しを行い、コスト削減に努めていく。



類似団体内順位 19/132 全国平均 12.5 福島県平均 7.9

扶助費の分析欄
 前年度から0.1ポイント減少し、類似団体平均を2.5ポイント下回る結果となった。類似団体平均を下回ったものの、今後も少子高齢化の進行等に伴う扶助補の増加が見込まれる。今後も引き続き、困窮家庭の支援策の充実などにより、扶助費の適正化に努めていく。



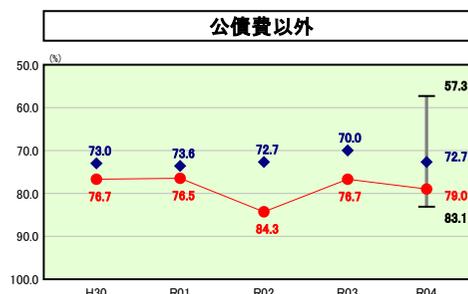
類似団体内順位 74/132 全国平均 12.4 福島県平均 13.1

その他の分析欄
 前年度から0.3ポイント増加し、類似団体平均を0.6ポイント上回る結果となった。今後は、震災以前の支出規模を目安とし、特別会計も含めた経費削減に努めるとともに、公共施設の老朽化等に伴い維持補修費の増加も懸念されることから、公共施設の管理計画に基づいた適正な維持管理に努める。



類似団体内順位 19/132 全国平均 16.0 福島県平均 15.0

公債費の分析欄
 前年度から1.7ポイント増加し、類似団体平均を4.7ポイント下回る結果となった。類似団体及び全国平均は下回ったまま推移しているが、令和元年東日本台風・令和3年福島県沖地震に係る災害復旧事業債の借入により上昇となると考えられる。今後は、公共施設の維持適正化、事業の見直しを実施しながら、新たな地方債の発行を抑制していく。



類似団体内順位 122/132 全国平均 76.2 福島県平均 74.4

公債費以外の分析欄
 以前より、類似団体と比較して高い数値で推移しており、類似団体平均を6.3ポイント上回る結果となった。類似団体の比較を大きく上回っている補助費の一層の削減を図る。今後は、復興関連事業の進捗に伴い、支出額は減少しているが、令和元年東日本台風・令和3年福島県沖地震・令和4年福島県沖地震に係る支出額が増加している状況である。今後は、震災以前に近づけるよう歳出削減に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

福島県相馬市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

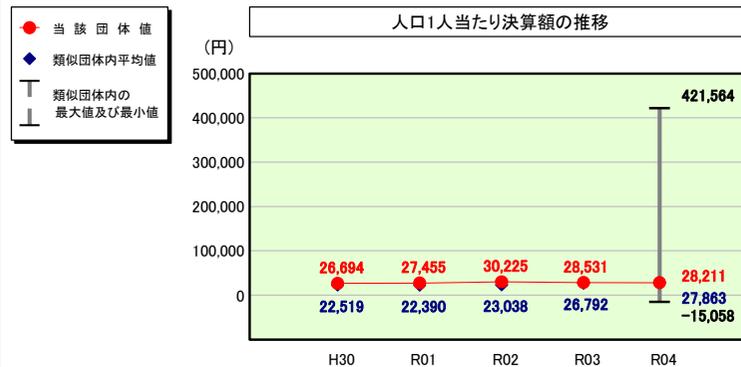
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,028,603	90,799	105,319	▲ 13.8
一部事務組合負担金(補助費等)	526,608	15,788	9,860	60.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	51,690	1,550	1,656	▲ 6.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	106,552	3,194	4,056	▲ 21.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	26,255	787	2,339	▲ 66.4
▲退職金	▲ 230,718	▲ 6,917	▲ 7,717	▲ 10.4
合計	3,508,990	105,201	115,515	▲ 8.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.90	10.69	▲ 1.79
ラスパイレース指数	100.0	97.4	2.6

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

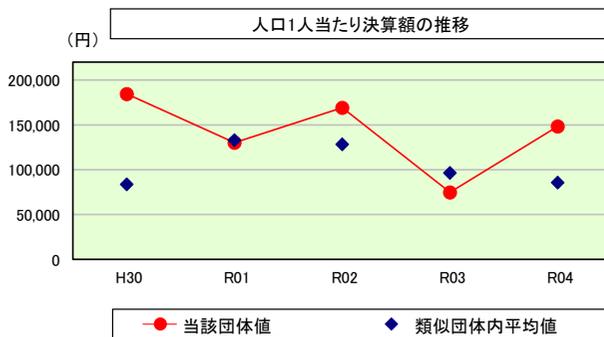


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,834,916	55,012	74,824	▲ 26.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	1	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	475,616	14,259	17,427	▲ 18.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	211,027	6,327	2,447	158.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	225,749	6,768	591	1,045.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 68,518	▲ 2,054	▲ 3,618	▲ 43.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,737,805	▲ 52,100	▲ 63,812	▲ 18.4
合計	940,985	28,211	27,863	1.2

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H30	6,517,149	184,507	30.8	83,774	▲ 1.5	32.3
うち単独分	2,670,351	75,600	85.2	52,179	2.7	82.5
R01	4,517,970	130,171	▲ 29.4	132,981	58.7	▲ 88.1
うち単独分	1,686,569	48,593	▲ 35.7	56,973	9.2	▲ 44.9
R02	5,796,581	169,125	29.9	128,523	▲ 3.4	33.3
うち単独分	1,032,162	30,115	▲ 38.0	56,792	▲ 0.3	▲ 37.7
R03	2,530,986	74,813	▲ 55.8	96,469	▲ 24.9	▲ 30.9
うち単独分	804,048	23,767	▲ 21.1	49,775	▲ 12.4	▲ 8.7
R04	4,950,362	148,414	98.4	85,743	▲ 11.1	109.5
うち単独分	683,646	20,496	▲ 13.8	45,231	▲ 9.1	▲ 4.7
過去5年間平均	4,862,610	141,406	14.8	105,498	▲ 3.6	11.2
うち単独分	1,375,355	39,714	▲ 4.7	52,190	▲ 2.0	▲ 2.7

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

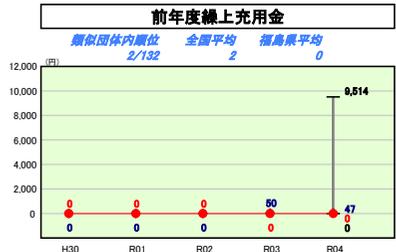
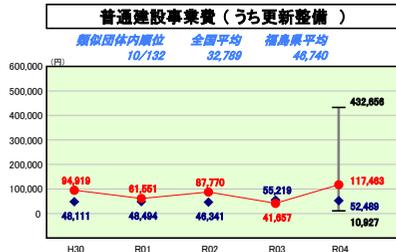
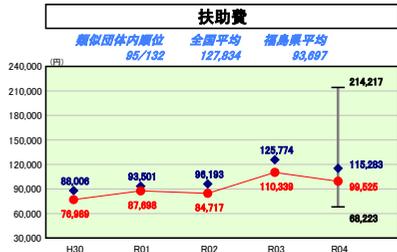
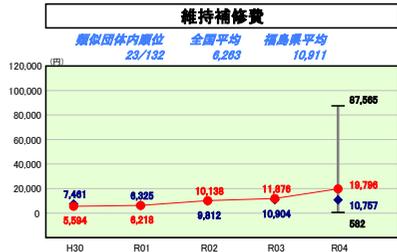
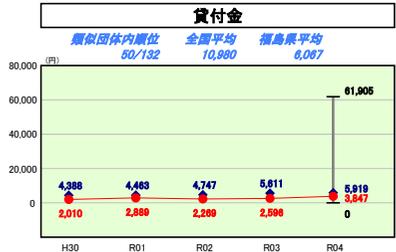
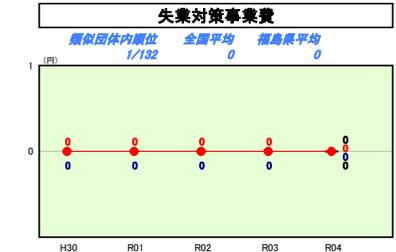
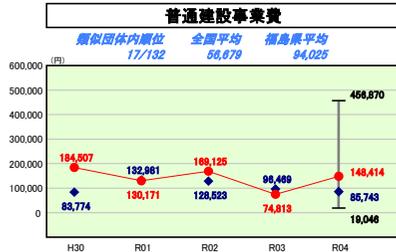
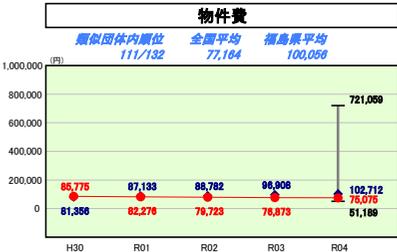
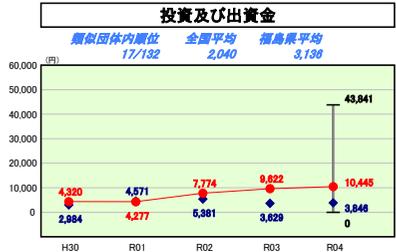
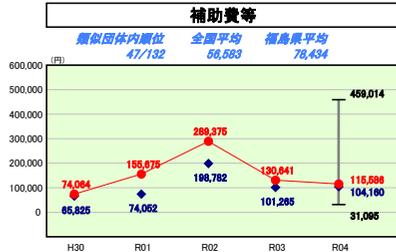
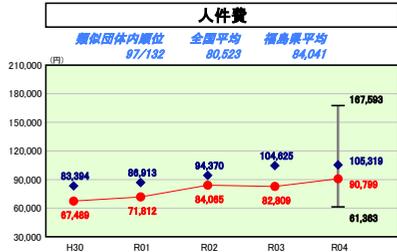
令和4年度

福島県相馬市

人口	33,365人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	33,084人(05.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	197.79km ²	実質公債費比率	11.4%
歳入総額	26,825,079千円	将来負担比率	16.7%
歳出総額	24,833,431千円	市町村類型	H30 I-0 R01 I-0 R02 I-0
実質収支	584,818千円	(年度毎)	R03 I-1 R04 I-1
標準財政規模	10,195,720千円		
地方債現在高	17,356,445千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

歳出決算総額は、住民一人当たり738,522円(※R3 664,047円)となっており、前年度より増加している。
 維持補修費は公共施設の維持管理費の増などにより、増加傾向にある。
 扶助費については、前年度と比較し減少しているが、新型コロナウイルスが蔓延する令和2年度以前と比較すると、コロナウイルス関係給付費により増加している。
 普通建設費については、令和4年福島県沖地震に係る災害復旧の影響で、前年度から、大きく増額している。
 災害復旧事業費については、令和4年福島県沖地震により類似団地と比較して高い数値となっている。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

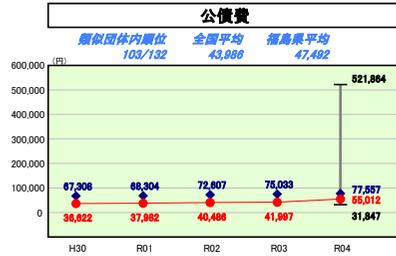
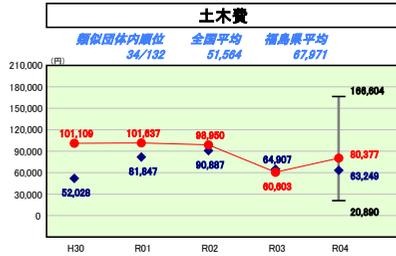
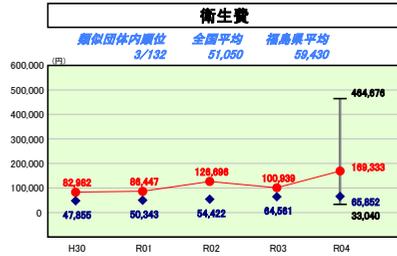
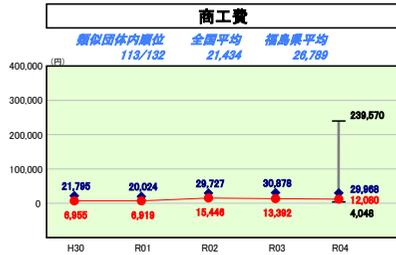
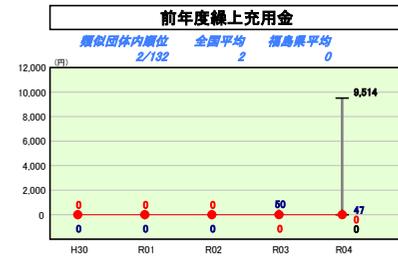
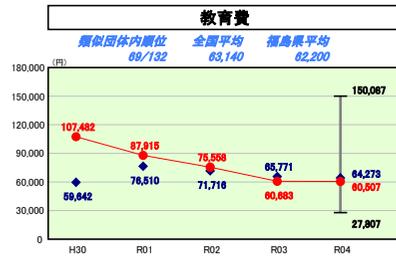
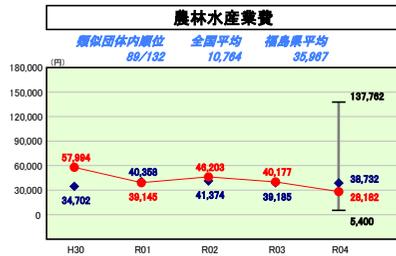
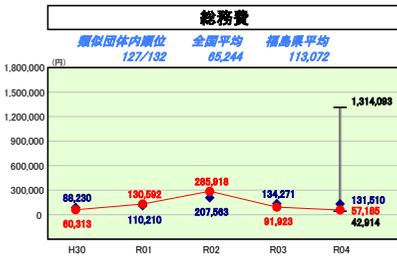
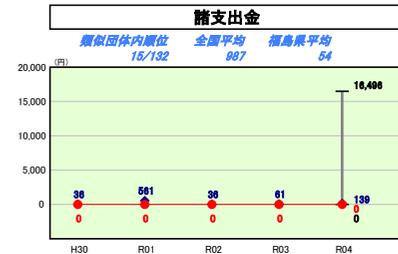
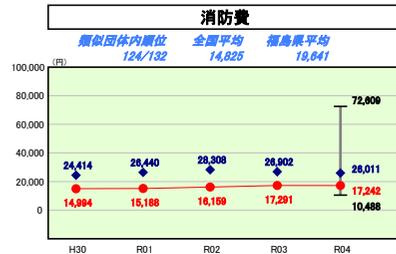
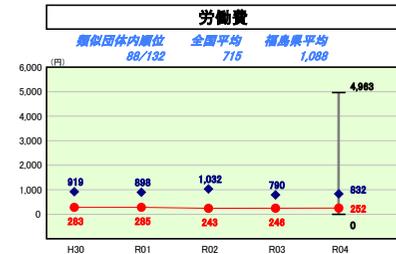
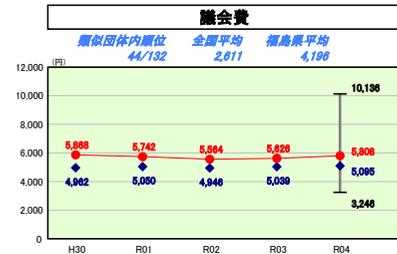
令和4年度

福島県相馬市

人口	33,365 人(05.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	33,084 人(05.1.1現在)	通算実質赤字比率	- %
面積	197.79 千㎡	実質公債費比率	11.4 %
歳入総額	26,825,079 千円	将来負担比率	16.7 %
歳出総額	24,833,431 千円	市町村類型	H30 I-0 R01 I-0 R02 I-0
実質収支	584,818 千円	(年度毎)	R03 I-1 R04 I-1
標準財政規模	10,195,720 千円		
地方債現在高	17,356,445 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



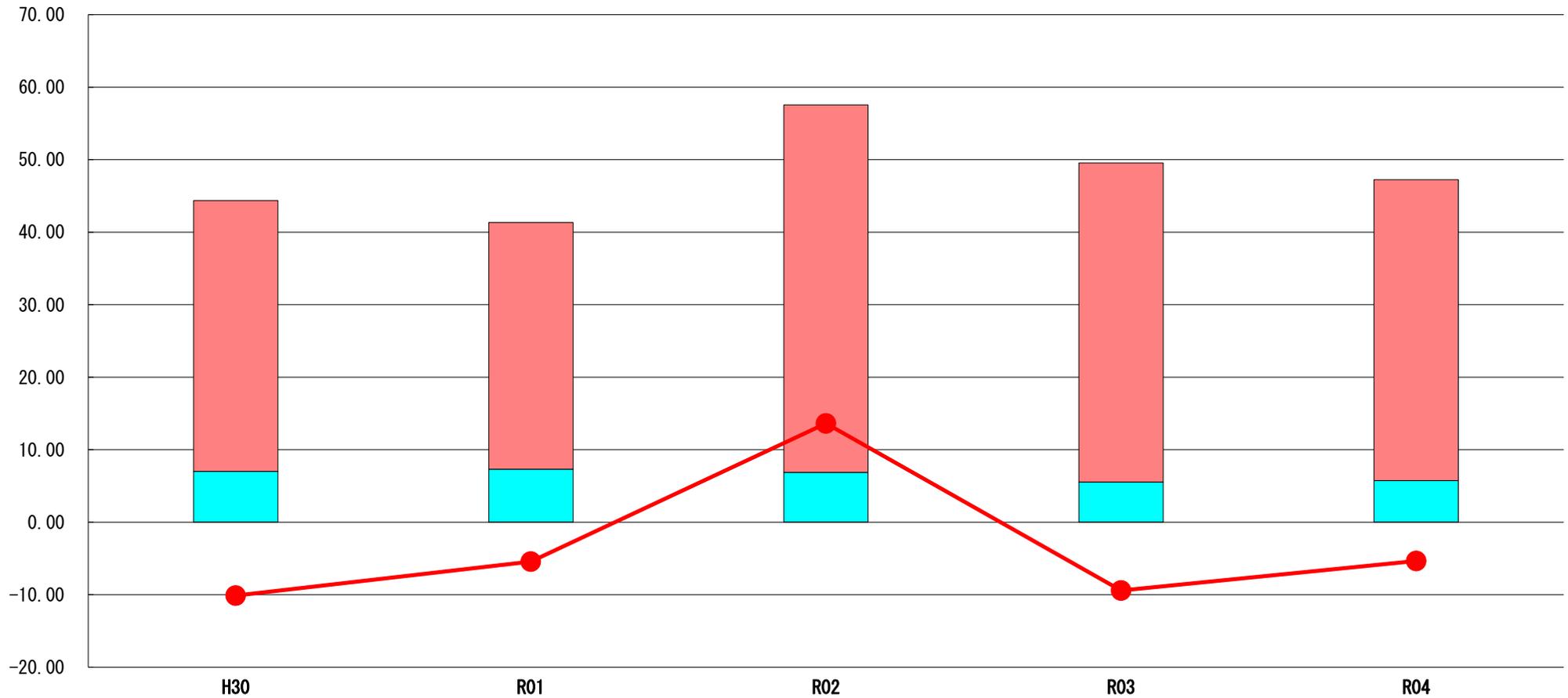
目的別歳出の分析
 前年度同様、衛生費、土木費、災害復旧費において、類似団体内で高い値となっている。それぞれの増減要因は以下のとおり。
 総務費においては、減債基金への積立額の減などにより減額となっている。
 衛生費においては、令和4年福島県沖地震による災害廃棄物処理事業の増額によるもの。
 土木費においては、小泉川ポンプ場長寿命化事業、屋根耐風改修事業などの増額によるもの。
 災害復旧費においては、令和4年福島県沖地震により増額のため。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和4年度

福島県相馬市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		37.35	34.02	50.68	44.00	41.50
 実質収支額		7.01	7.32	6.88	5.55	5.74
 実質単年度収支		▲ 10.12	▲ 5.44	▲ 13.63	▲ 9.41	▲ 5.34

分析欄

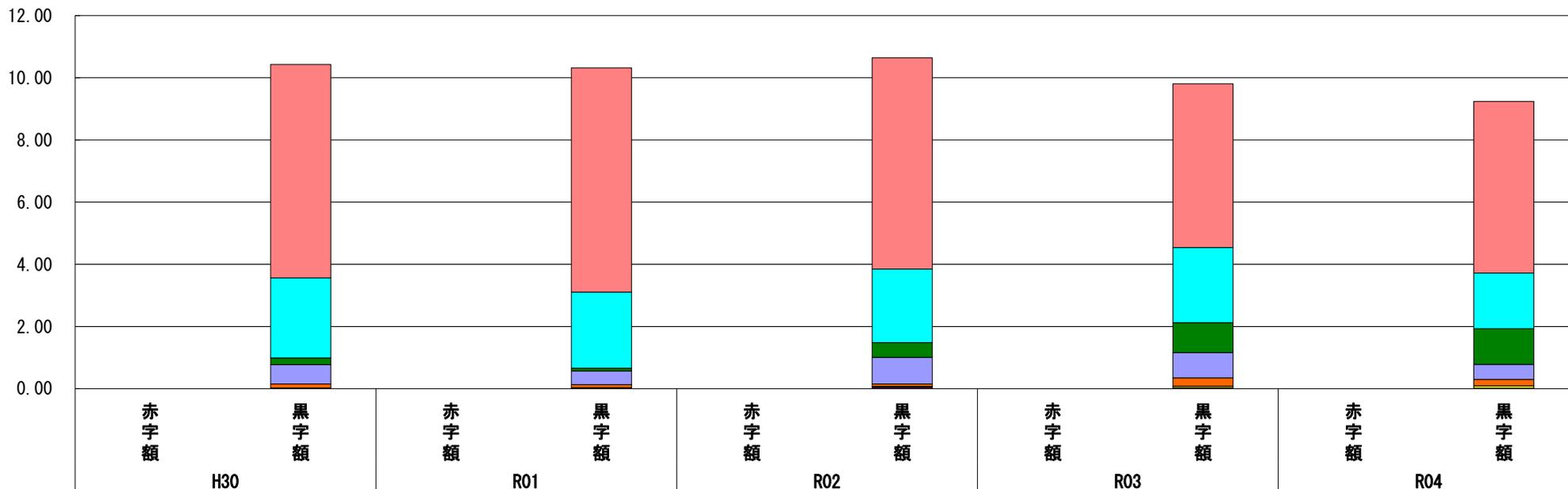
令和元年東日本台風・令和3年福島県沖地震・令和4年福島県沖地震と災害が頻発し、災害復旧に要する経費を財政調整基金から取り崩さざるを得ない状況が続き、基金残高は減少している。
 実質単年度収支は前年度に引き続き赤字の状態となっている。
 今後、震災復興事業で整備した施設の経年劣化等に伴う維持管理経費の増加、人口減少による税收減、普通交付税の減額が予想されることから、安定した市政運営のための財源確保が課題となってくる。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

福島県相馬市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
一般会計		6.87	7.21	6.79	5.27	5.52
介護保険特別会計		2.57	2.45	2.37	2.42	1.79
公共下水道事業特別会計		0.22	0.09	0.47	0.96	1.15
国民健康保険特別会計		0.62	0.44	0.86	0.81	0.48
光陽地区造成事業特別会計		0.13	0.10	0.08	0.27	0.21
農業集落排水事業特別会計		0.01	0.01	0.03	0.05	0.08
後期高齢者医療特別会計		0.01	0.02	0.04	0.03	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

一般会計の標準財政規模比は、前年度より0.25ポイントの増加となっている。特別会計については、公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計を除く会計では、前年度からポイントが減少している。

各会計において赤字額の発生はなく、今後も黒字決算を維持できると見込まれる。

引き続き、健全な財政運営のため、各会計ともに、経費削減、事業効率化を推進していく。

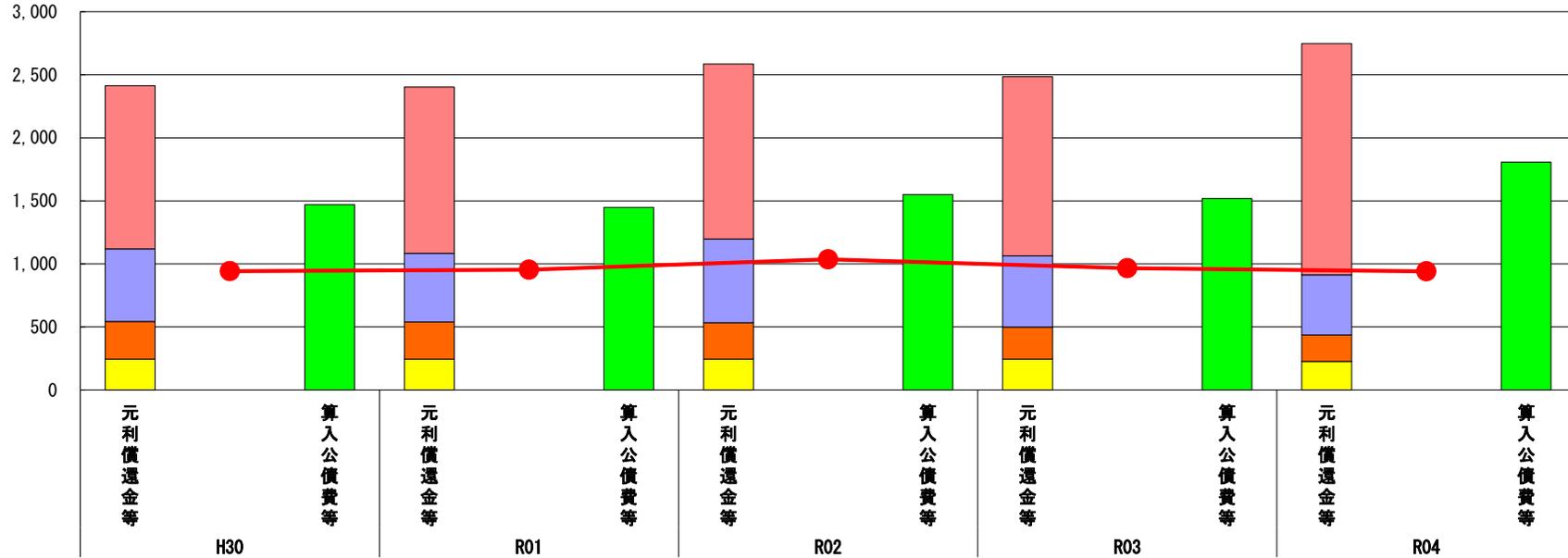
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

福島県相馬市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,294	1,318	1,388	1,421	1,835
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		575	544	664	565	476
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		299	295	289	254	211
	債務負担行為に基づく支出額		245	245	245	245	226
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,470	1,449	1,550	1,519	1,807
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		943	953	1,036	966	941

分析欄

県営事業松ヶ房ダム整備事業等の債務負担額に係る支出や庁舎建設・学校改築等に係る償還に加え、令和元年東日本台風災害に係る償還により、類似団体に比べ依然として高い状況である。今後は令和3年福島県沖地震・令和4年福島県沖地震に係る償還が開始されるため、上昇傾向になると推測される。財政状況を見ながら利率の高い市債の繰上償還の実施や公営企業の健全化を図り、基準外繰出金の抑制に努める。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

分析欄

ここに入力

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

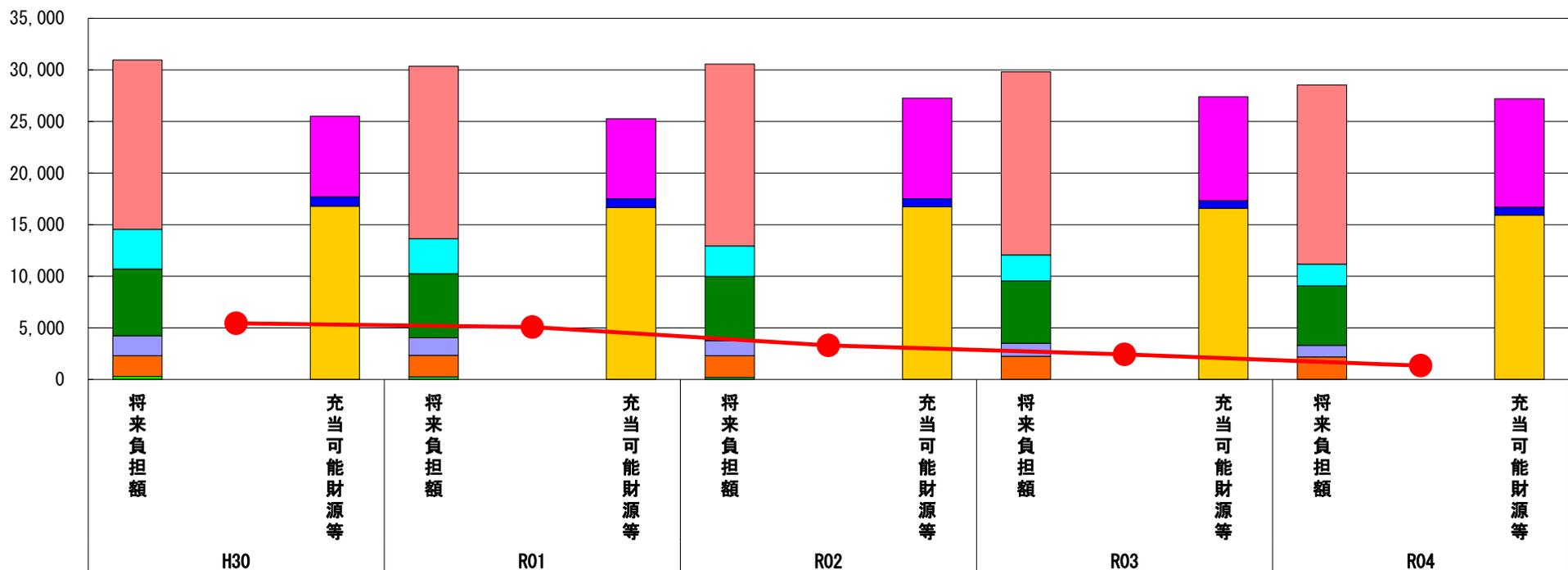
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

福島県相馬市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		16,419	16,698	17,622	17,746	17,356
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,846	3,407	2,971	2,537	2,122
	公営企業債等繰入見込額		6,466	6,208	6,213	6,037	5,756
	組合等負担等見込額		1,922	1,691	1,454	1,254	1,117
	退職手当負担見込額		2,010	2,086	2,121	2,242	2,185
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		298	253	187	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		7,806	7,740	9,752	10,070
充当可能特定歳入			925	863	800	737	776
基準財政需要額算入見込額			16,788	16,665	16,719	16,589	15,916
(A) - (B)	将来負担比率の分子		5,443	5,076	3,297	2,421	1,335

分析欄

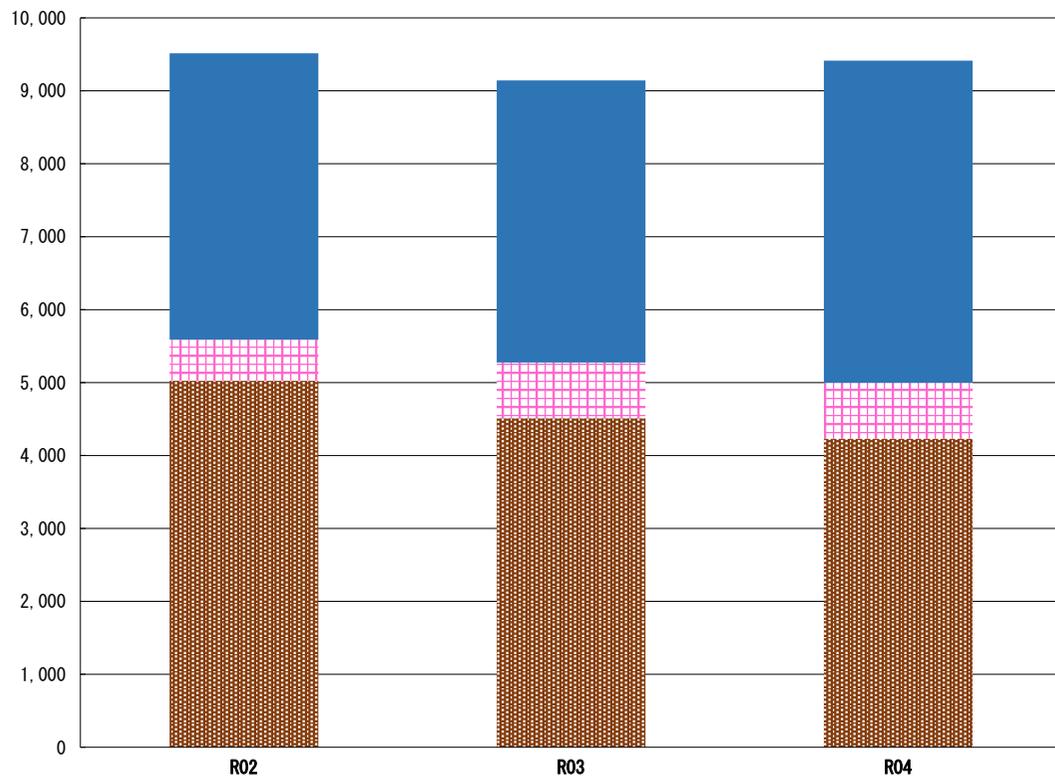
今年度においては、債務負担行為に基づく支出予定額の減少や組合等負担等見込額の減少等により、将来負担比率は改善された。

今後は、公立相馬総合病院事業の経営悪化や復興事業で整備した施設の経年劣化等に伴う維持管理経費の増加により、財政調整基金の取り崩しを行うことが見込まれ、充当可能財源が減少することにより将来負担比率は増加することが見込まれる。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		5,024	4,512	4,232
減債基金		565	763	763
その他特定目的基金		3,926	3,867	4,419
市営住宅維持管理基金		534	806	1,084
職員退職手当基金		607	694	783
ふるさと振興基金		621	680	729
産業廃棄物埋立処分場維持管理基金		457	574	649
復興住宅被災者取得支援基金		410	410	408
基金残高合計		9,515	9,141	9,413

令和4年度

福島県相馬市

基金全体

(増減理由)

令和4年度末の基金残高は、約94億円となっており、前年度から約3億円の増加となっている。これは、財政調整基金残高は減少したものの、その他特定目的基金（市営住宅維持管理基金など）が増加したためである。

(今後の方針)

今後、震災復興事業で整備した施設の経年劣化に伴う維持管理経費の増加、人口減少による税収減、普通交付税の減額が予想されることから更なる財政の硬直化が懸念される。

限られた財源のなかで効率的な予算配分を行いながら、健全な財政運営に努めることとしている。

財政調整基金

(増減理由)

令和4年度末の基金残高は、約42億円となっており、前年度から約3億円の減少となっている。これは令和4年3月に発生した福島県沖地震に係る災害関連経費や復興事業で整備した施設の維持管理経費、ロシアのウクライナ侵攻に伴う物価高騰などにより、財政調整基金の取り崩し額が増加していることによるものである。

(今後の方針)

歳入面では、人口減少による税収減、普通交付税の減額が見込まれ、歳出面では災害復旧事業債など償還費の増加や震災復興関連施設の経年劣化に伴う維持管理費の増加が見込まれることから、中長期的には減少していく見込みであるため、歳入に見合った収支均衡の財政運営を

減債基金

(増減理由)

増減なし

(今後の方針)

償還計画を踏まえ、効果的な基金運営を行っていくこととしている。

その他特定目的基金

(基金の用途)

市営住宅維持管理基金：市営住宅の適正な維持管理のため
ふるさと振興基金：伝統文化の振興及び人材育成並びに地域活性化に向けた施策の推進
復興住宅被災者取得支援基金：東日本大震災により住居を失った被災者等に対する相馬市営住宅の払下げに関する支援

(増減理由)

市営住宅維持管理基金：市営住宅の適正な維持管理を行っていくための積立を実施したことによる増額
職員退職手当基金：退職計画と併せて適正な積立を実施したことによる増額

(今後の方針)

ふるさと振興基金：寄附者の意向に沿った基金運営を行うこととしている。
職員退職手当基金：職員退職計画にあわせて引き続き積み立てを行うこととしている。
産業廃棄物埋立処分場維持管理基金：施設の維持管理のため適正な積み立てを行うこととしている